

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4135
21年3月23日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

全国で抗議のストライキ

要求実現めざし15職場 26人がスト突入



おはようございます。
本部は、「2021年4月1日以降の賃金引上げ等に関する要求書」の正式回答を3月18日に受け、同19時から日本郵政グループ各社と第6回賃金交渉を開催してきました。交渉で本部は、「組合要求とは大きな乖離があり、認めることはできない」として回答に対し反論を行うとともに、再検討・再回答を求め

した。そのうえで、「いざれにしても会社から『経営状況からギリギリの判断での正式回答』という見解が示された。要求と主張が受け入れられないことは、非常に残念である。3月15日に72時間前通告を行ってきたところであり、ストライキ実施の判断をせざるを得ない」とし、本日の全国一斉ストライキ突入指令を发出了しました。

6年連続のベアゼロなごきわめて不誠実な回答に対し、要求の実現めざし全国15職場、26名の組合員がストライキに突入しました。

郵政本社前では「ストライキ突入集会」を11時から開催しました。全労連・全労協傘下の各単産や争議団が支援にかけつけ、東京地本組合員やストライキに立ち上がった関東地本の落合書記次長らを激励しました。

日巻委員長は、3月18日の会社の正式回答に対し、①正規・非正規社員のベースアップは困難、②一時金は昨年同様、③3月④均等待遇要求についてはほぼゼロ回答

という極めて不誠実な回答だと報告、「コロナ禍だから」「日本郵政の経営が厳しいから」と私たちの要求に背を向けるのではなく、「コロナ禍でこそ生活できる賃金の引き上げ」を行うべきだと強調しました。

格差是正では最高裁判決は「格差是正に向けた大きな一歩だ」と指摘し、今春闘で改正提案されなかったことを強く抗議しました。さらに委員長は、日本郵政グループに対し「責任ある姿勢を示すべきだ」と強調し、郵政関連労働者の賃金引き上げと均等待遇を勝ちとるため全力でたたかう決意を述べました。



今回九州では、北九州中央局と福岡中央局でもストライキに突入しました。北九州中央局前で行われたスト集会を報告します。

北九州中央局前で、7時半から9時まで行われたスト集会には、中央本部から石野中執、地本から田尻書記長が参加。また地域から共闘の仲間など約60人が支援に駆け付けスト集会を行いました。



北九州では、郵政ユニオンのストライキに、全労協加盟のユニオン北九州、全労連から北九州地区労連、自治労全国一般北九州支部・筑豊支部などナショナルセンターの枠を越えて多くの団体が参加。スト集会後行われる、それぞれの争議現場を一日かけてまわる争議支援行動とともに重要な闘いとなっています。

郵政ユニオンの闘いが郵政職場の改善と地域の労働運動の前進に、少しでも寄与する事を信じて今後も活動していきます！（支部長 見口）

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員が正社員化を。

ゆびが、均等待遇、なげうち差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！